



Web セキュリティ管理の例

この章は、次の項で構成されています。

- [Web セキュリティ管理の例 \(1 ページ\)](#)

Web セキュリティ管理の例

この付録では、Cisco コンテンツ セキュリティ管理アプライアンスの機能を導入するいくつかの一般的な方法について説明します。内容は次のとおりです。

- [例 1 : ユーザの調査 \(1 ページ\)](#)
- [例 2 : URL のトラッキング \(3 ページ\)](#)
- [例 3 : アクセス数の多い URL カテゴリの調査 \(4 ページ\)](#)

Web セキュリティ アプライアンスの例

このセクションでは、セキュリティ管理アプライアンスと Web セキュリティ アプライアンスを使用する例について説明します。



- (注) これらのシナリオはすべて、セキュリティ管理アプライアンスおよび Web セキュリティアプライアンスで Web レポートिंगおよび Web トラッキングが有効であることを前提としています。Web トラッキングおよび Web レポートिंगをイネーブルにする方法については、[中央集中型 Web レポートिंगおよびトラッキングの使用](#)を参照してください。

例 1 : ユーザの調査

次に、システム管理者が会社で特定のユーザを調査する例を示します。

このシナリオでは、ある従業員が勤務中に不適切な Web サイトにアクセスしている、という苦情を管理者が受け取っています。それを調査するには、システム管理者が Web アクティビティの詳細をトラッキングする必要があります。

Web アクティビティをトラッキングすると、従業員の参照履歴に関する情報が記載された Web レポートが作成されます。

ステップ 1 セキュリティ管理アプライアンスで、[ウェブ (Web)] > [レポート (Reporting)] > [ユーザ (Users)] を選択します。

ステップ 2 [ユーザ (Users)] テーブルで、調査する [ユーザ ID (User ID)] または [クライアント IP アドレス (Client IP address)] をクリックします。

ユーザ ID またはクライアント IP アドレスがわからない場合は、ユーザ ID またはクライアント IP アドレスをわかる範囲でテキストフィールドに入力し、[ユーザ ID またはクライアント IP アドレスの検索 (Find User ID or Client IP address)] をクリックします。IP アドレスが正確に一致していなくても結果は返されます。[ユーザ (Users)] テーブルに、指定したユーザ ID およびクライアント IP アドレスが入力されます。この例では、クライアント IP アドレス 10.251.60.24 の情報について検索しています。

ステップ 3 IP アドレス [10.251.60.24] をクリックします。

10.251.60.24 の [ユーザの詳細 (User Details)] ページが表示されます。

ユーザの詳細ページから総トランザクション別の URL カテゴリ、総トランザクション別のトレンド、一致する URL カテゴリ、一致するドメイン、一致するアプリケーション、検出されたマルウェアの脅威、および一致するポリシーを確認できます。

これらのカテゴリによって、10.251.60.24 のユーザがブロックされている URL (ページの [ドメイン (Domains)] セクションに含まれる [ブロックされたトランザクション (Transactions Blocked)] 列に表示) にアクセスしようとしていたことなどがわかります。

ステップ 4 [一致したドメイン (Domains Matched)] テーブルの下の [エクスポート (Export)] をクリックし、ユーザがアクセスしようとしていたドメインおよび URL のリストを表示します。

ここから Web トラッキング機能を使用して、この特定のユーザの Web 使用状況をトラッキングし、表示できます。

(注) Web レポートでは、アクセスされる特定の URL に限らず、ユーザがアクセスするすべてのドメイン情報を取得できる点に注意してください。ユーザがアクセスしている特定の URL、その URL にアクセスした時刻、その URL が許可されているかどうかなどの情報を得るには、[Web トラッキング (Web Tracking)] ページの [プロキシサービス (Proxy Services)] タブを使用します。

ステップ 5 [ウェブ (Web)] > [レポート (Reporting)] > [Web トラッキング (Web Tracking)] を選択します。

ステップ 6 [プロキシサービス (Proxy Services)] タブをクリックします。

ステップ 7 [ユーザ/クライアント IP アドレス (User/Client IP Address)] テキスト フィールドにユーザ名または IP アドレスを入力します。

この例では、ユーザ 10.251.60.24 の Web トラッキング情報を検索します。

検索結果が表示されます。

このページから、IP アドレス 10.251.60.24 に割り当てられているコンピュータのユーザがアクセスしたトランザクションおよび URL のすべてのリストを確認できます。

関連項目

次の表にこの例で説明する各トピックをリストします。各項目の詳細については、リンクをクリックしてください。

表 1: ユーザーの調査の関連項目

機能名	機能情報
[ユーザー (User)] ページ	[ユーザ (Users)] レポート (Web)
[ユーザーの詳細 (User Details)] ページ	[ユーザの詳細 (User Details)] (Web レポーティング)
レポート データのエクスポート	レポーティングデータおよびトラッキングデータのエクスポート
[Web トラッキング (Web Tracking)] ページの [プロキシサービス (Proxy Services)] タブ	Web プロキシサービスによって処理されたトランザクションの検索

例 2 : URL のトラッキング

このシナリオでは、セールスマネージャが、会社のサイトへのアクセスで、先週の上位 5 位を知りたい場合を考えます。さらに、どのユーザがこれらの Web サイトにアクセスしているかについても知りたいとします。

ステップ 1 セキュリティ管理アプライアンスで、[ウェブ (Web)] > [レポート (Reporting)] > [Web サイト (Web Sites)] を選択します。

ステップ 2 [時間範囲 (Time Range)] ドロップダウン リストから [週 (Week)] を選択します。

ステップ 3 [ドメイン (Domains)] セクションをスクロールダウンすると、アクセスされているドメインまたは Web サイトが表示されます。

アクセス上位 25 位までの Web サイトは、[一致したドメイン (Domains Matched)] テーブルに表示されます。同じテーブルで [ドメイン (Domain)] または [IP] 列のリンクをクリックすると、特定のアドレスまたはユーザが参照した実際の Web サイトを確認できます。

関連項目

次の表にこの例で説明する各トピックをリストします。各項目の詳細については、リンクをクリックしてください。

例 3 : アクセス数の多い URL カテゴリの調査

表 2: URL のトラッキングの関連項目

機能名	機能情報
[Web サイト (Web Sites)] ページ	[Web サイト (Web Sites)] レポート

例 3 : アクセス数の多い URL カテゴリの調査

このシナリオでは、従業員が最近 30 日間にアクセスした上位 3 位までの URL を、人事部長が知りたい場合を考えます。また、ネットワーク管理者が、帯域幅の使用上をモニタしたり、ネットワークで最も帯域幅を使用している URL を特定したりするためにこの情報を取得するとします。

次の例は、複数の観点を持つ複数の人のためにデータを収集するが、生成するレポートは1つだけで済む方法を示します。

ステップ 1 セキュリティ管理アプライアンスで、[ウェブ (Web)]>[レポート (Reporting)]>[URL カテゴリ (URL Categories)] を選択します。

この例の [URL カテゴリ (URL Categories)] ページによると、総トランザクション別の上位 10 の URL カテゴリ グラフから、Instant Messaging、Hate Speech、Tattoo サイトなどの他に、282 k の未分類の URL にアクセスしていることがわかります。

ここで、[エクスポート (Export)] リンクをクリックして raw データを Excel スプレッドシートにエクスポートすると、このファイルを人事部長に送信できます。ネットワーク マネージャに URL ごとの帯域幅の使用量を知らせる必要があります。

ステップ 2 新しい ILLO が必要です - スキップ [使用帯域幅 (Bandwidth Used)] 列を表示するには、[一致した URL カテゴリ (URL Categories Matched)] テーブルまでスクロールします。

[一致した URL カテゴリ (URL Categories Matched)] テーブルで、すべての URL カテゴリの帯域幅の使用量を確認することができます。もう一度 [エクスポート (Export)] リンクをクリックして、このファイルをネットワーク管理者に送信します。さらに細かく調べるには、[インスタントメッセージ (Instant Messaging)] リンクをクリックすると、どのユーザが帯域幅を大量に使用しているかが特定されます。次のページが表示されます。

このページから、ネットワーク管理者が Instant Messaging サイトの上位 10 ユーザを知ることができます。

このページから、最近 30 日間で 10.128.4.64 のユーザが Instant Messaging サイトに 19 時間 57 分アクセスしており、この期間の帯域幅の使用量が 10.1 MB であることがわかります。

関連項目

次の表にこの例で説明する各トピックをリストします。各項目の詳細については、リンクをクリックしてください。

表 3: アクセスの多い URL カテゴリの調査の関連項目

機能名	機能情報
[URLカテゴリ (URL Categories)] ページ	[URLカテゴリ (URL Categories)] レポート
レポート データのエクスポート	レポートデータおよびトラッキングデータのエクスポート

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。